

第12回ごみ焼却施設用地検討部会議事録（概要）

- 1 **開催日時** 平成27年1月7日（水）午後2時00分から3時30分まで
- 2 **開催場所** 鎌倉市議会第二委員会室
- 3 **出席者** 横田（生環審）会長、荒井会長、河邊副会長、
深山秀男様、石井信様、矢澤基一様、岩佐勝司様、吉田好明様、三浦昭男様、
尾島隆史様
- 4 **事務局** 石井環境部長、遠藤環境施設課長、近藤環境施設課課長補佐、
齋藤環境施設課課長補佐、花田環境施設課環境施設担当
- 5 **協議内容**
 - (1) 鎌倉市ごみ焼却施設用地検討部会における検討結果報告書（案）について
 - (2) その他
- 6 **配付資料**
 - (1) 資料1 「鎌倉市ごみ焼却施設用地検討部会における検討結果報告書（案）」
 - (2) 資料2 「ご意見・ご感想シート」

7 会議の概要

主な質疑応答等の内容は次のとおりです。

(1) 配布資料、議事録の確認（遠藤課長）

配布資料について確認。本日の資料については、13日に行われる生活環境整備審議会までは、取り扱い注意をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

前回の議事録について、修正があれば1月9日までに環境施設課までご連絡願います。また、本日の議事録については、まとまり次第郵送させていただきます。

荒井会長

本日の資料の取り扱いについて、事務局からの提案のとおりでよろしいでしょうか。

（了承）

荒井会長

異議なしということで、資料は取り扱い注意をお願いします。

前回の議事録については、今週中にご確認いただくということでよろしいでしょうか。

（了承）

では、そのようにさせていただきます。

それでは本日の協議に入ります。事務局から説明をお願いします。

齋藤課長補佐

資料1「鎌倉市ごみ焼却施設用地検討部会における検討結果報告書（案）について」のご説明をいたします。

（以降、資料に基づいて説明。）

荒井会長

ありがとうございました。ご意見があればお願いします。2、3箇所気になる部分がありましたが、概ねよろしいかと思えます。皆様の意見をお願いします。

市民D

山崎下水道終末処理場未利用地について、国への返還額が相当な金額ですが、この辺はどう考えたらよいのでしょうか。

遠藤課長

返還の可能性については、以前からご協議を頂いてきたと思いますが、下水道施設と新たなごみ焼却施設の一体利用によって、返還が生じないように、一体利用を検討していく必要があるということ整理されてきたと考えています。

市民D

トータルコストとして考えた場合に、返還額は負担となるのではないのでしょうか。

遠藤課長

山崎下水道終末処理場未活用地については、下水道施設とごみ焼却施設の一体利用を前提に考えて、返還金額の軽減を図っていくことが必要ということでご協議頂いたと考えています。

バイオマスエネルギー回収施設の検討の際には、一体利用によって補助金の返還は必要ありませんでした。

市民D

可能性だけの話であってコストとして見込む必要があると思います。

遠藤課長

一体利用を前提に考えて検討を進めていき、それが難しい場合には接道の用地取得費と補助金の返還がトータルコストに加わってくるということで、括弧内に金額を標記しています。

齋藤課長補佐

この4箇所の候補地は、皆様からご意見をいただき、鎌倉市の土地事情を考えて、金額が高い、安いではなく、「土地の広さ等の観点から建設が可能であるか」ということで抽出されてきました。野村総合研究所跡地についても橋の補修等で8億円掛かりますが、8億円かかるから建てられないということではありませんでした。このような財政上のことは、最終的には行政が候補地を判断していくうえでのひとつの判断材料にさせていただくということになると思います。

荒井会長

用地検討部会としては、4箇所を候補地として出すのと同時に課題を整理し、1箇所に絞っていく際に役立ててもらおうための申し送りをしようというスタンスだと思います。

遠藤課長

これまでも、候補地を4箇所から絞り込んだ方が良いのではないかという意見がありましたが、先ほど説明しましたとおり、面積と接道の観点から4箇所まで絞り込んできました。それ以降は、比較検討ということで、情報を集め、どういった状況であるかを調査してきたというのがこれまでの経過で、その比較検討項目のひとつが、この概算費用になるかと思います。

市民B

一体化した施設を造れば返還金は不要となるわけですね。今の話から、山崎下水道終末処理場未活用地に建てる場合には一体化した施設を造ることを前提でいくということではないでしょうか。

遠藤課長

一体化したひとつの施設、敷地とみなすことができる場合には、接道も不要となる可能性があります。ただし、出入り口が変わってくる可能性は考えられます。

市民B

一体化の施設さえ造れば接道の費用も要らなくなるのですか。

遠藤課長

可能性があります。

荒井会長

P34に今の話が記載されています。この部分に、「山崎下水道終末処理場未活用地に建てる場合には一体化した施設を造る必要があります、それができなかった場合には費用が大きくなる」ということが整理されているということによろしいのではないのでしょうか。また、国補というのは国庫補助金のことなので、国費とするのが良いと思います。

河邊副会長

法的に解決できない課題はないとされているわけですので、一体化の施設を造ることを大前提にして、万が一の場合にはこれだけの費用が掛かるという書き方もあるかと思います。現在も、解決できない課題ではないということを示しているのです、それで良いのではないのでしょうか。

市民B

この課題を回避できる方法はあるのですか。

齋藤課長補佐

バイオマスエネルギー回収施設の計画の際には、生ごみと汚泥の処理を一体処理するというこ
とで、一体化利用でよしとするということでした。同様にごみと汚泥の処理が鎌倉武道館に電力
を供給するという事などの検討を重ね判断していくことになると思います。お金の問題は重要
ですが、市としては、限られた土地の中では、こうしたリスクも含めながら検討していく必要が
あると考えています。今後、国や県に相談しながら、有効な手法を考えていくことが行政の仕事
であると思います。

市民 G

焼却施設の建設について、土地を購入する際の補助金はないのですか。

遠藤課長

最低の面積分については可能性があります。

市民 G

補助金で払うという方法も考えられますが、全額返せということにはならないのではないでし
ょうか。

遠藤課長

そういうことを検討する必要があります。

荒井会長

書き方を「山崎下水道終末処理場未活用地に建設する場合には、一体的な活用をしなければなら
ない。それが叶わなかった場合には返還等が生じる」等の表現する手法もあると思います、他
に何かありますか。

河邊副会長

P 1 の数字がバラバラなので修正してください。また、P 38 の 2 の文章に「十分考慮した“な”
施設」となっているので修正をお願いします。また、P60 のタイトルについて、概算総事業費
となっていますが、P 22 の概算付帯費用と同じなのでどちらかに合わせた方が良いでしょう。

荒井会長

P10 の図について、凡例を付けた方が分かりやすいと思います。それからP38 ですが、他の
ページと字の大きさか字体が違っているので修正して下さい。その他はいかがでしょうか。

河邊副会長

P 3 に市民の方の名前が載せられていますが、問題ないですか。

齋藤課長補佐

これまでも、名前は公表ということで了承を得ており、議事録等に市民の皆様の名前は掲載させていただいてきました。

荒井会長

P22 の※は、山崎下水道終末処理場未活用地の件だけに付けた方が分かりやすくなると思います。

それでは指摘のあった点を修正し、修正の確認を行なったうえで、13 日に開催予定であります生活環境整備審議会へ、私から本報告書の内容を報告させていただきたいと思います。

1 年間という長い間、様々な角度から様々な議論をしていただいたおかげで、報告書をまとめることができました。皆様に感謝いたします。

遠藤課長

1 年間、本当にありがとうございました。この報告書を生活環境整備審議会に報告させていただき、生活環境整備審議会においても議論していただいた上で、基本計画に盛り込む形で市に答申をいただく予定となっています。今後、最終的には候補地を 1 箇所絞り込んでいくことが必要となります。今後のこともありますので、お一人ずつご意見、ご感想をいただきたいと思ます。

市民 E

分からなかった部分も皆様のおかげで理解することができました。ごみ焼却施設の建設は大変なことだと思いますが、良い方向となるように進めていただければと思います。

市民 D

1 年間、非常に勉強になりました。ごみ焼却施設は市として早急に取り組まなくてはならない重要なプロジェクトです。4 箇所とも反対されていますが、意見に、市全体のことを考えた大局的な意見がなかったように思います。これから 4 箇所から 1 箇所に絞り込む上で必要なことは、ごみプラントのイメージを変えるということが報告書にも記載されていますが、いかに総合施設としてうまくまとめていくかということに尽きると思います。この報告書の中にはそういったことに関する具体的なことは記載されていません。これから総合施設として何をどのように造るかということが議論されていくと思いますが、それが候補地を 1 箇所に決める場合の決め手となると思いますので、うまく進めて行って欲しいと思います。将来に向けての大事業なので、「鎌倉市の環境部はこのような施設を造った」というような、ランドマーク的な施設を、ぜひ造っていただきたいと思ます。知恵を絞り、他部署とも連携して、よろしく願います。

市民 C

この用地検討部会よりも以前からある積み残した課題が、今日に至るまで残っています。市長が変わる度に話が途切れ、約束も覆されてしまうため、ごみ処理問題についての市民と行政との「繋がり」が感じられません。施設建設にあたっては、行政と市民との信頼関係を作っていかなければ、行政がどのような数字を提示しても信用してもらえないと思ます。これから先も高い

ハードルがあると思いますが、それを超えていくために、市民との間の信頼関係をひとつひとつ積み重ねていく努力を、これまで以上に行っていただきたいと思います。ここでまた途切れてしまうと、いつまで経っても解決できないと思います。周辺住民との対話に重点を置いていただきたいと思います。

市民 F

いろいろと勉強させていただきました。ごみ問題においては、地域のエゴがたくさんあると感じました。秦野クリーンセンターを見学した際には、このような施設であれば反対する理由がないなと思いました。建ってよかったなと思ってもらえるような施設を造っていただきたいと思います。

市民 B

これからパブリックコメントや議会への提案等があると思いますが、できれば市の広報に情報を載せるなど、公にしていだければと思います。また、過去の約束が未履行になっている件については、速やかに解決していただきたいと思います。

市民 A

10年先のことでありますが、期間が延びてしまうことが多いので、なるべく早く計画が進むように努力をお願いしたいと思います。4箇所には絞られましたが、これからは地域住民の理解がないと進められませんし、それと同時にコストの問題が出てきます。4箇所の中から行政が責任を持って絞っていただければ良いかと思います。今後の行政の取り組みに期待したいと思います。

市民 G

1年間ありがとうございました。毎回、非常に分かりやすい資料提示でありがたかったです。報告書も、委員のみなさんの意見を良く聞いて、分かりやすくまとめられています。

ごみ焼却施設はどうしても造らなければならない施設ですので、庁内全部で盛り上がるぐらいの機運が欲しいと思います。何も悪いことをしているわけではないので、意気込みを持って、威勢よくやってもらいたいと思います。

河邊副会長

別の自治体でも用地選定をしています。その自治体は公募で選定を進めています。鎌倉市の場合、歴史の町という特殊な事情がありますので、独自の方法で決定していく必要があったと思います。市民の方々は非常に紳士的に発言等をされていたので、報告書作成まで上手く進んだのだと思います。

市民への説明会に、私も一度参加させていただいたのですが、発言される方は反対の方でしたが、反対の理由として「ダイオキシン類云々」ということはほとんどなかったようです。共通しているのは、土地の値段が下がるとか、交通環境が悪くなるといった風評被害でした。今後、行政が候補地を1箇所に絞り込むことになるとと思いますが、その際には、かなり鋭い質問や厳しい反対意見が出ると思います。その時に、ここに参加されている市民の方々が行政側をバックアッ

ブしていただければ、時間はかかるかもしれませんが、大きな問題になることなく施設が出来上がっていくのではないかと思います。私も個人的に協力等させていただきたいと思っています。

荒井会長

1年間という長い期間、皆様と一緒に用地選定に関わられたことは、貴重な経験でした。鎌倉市は歴史ある、緑あふれる町ですので、用地を選ぶということは難しいことです。ただ、トイレのない家はないと言われるように、ごみ焼却施設は、なくてはならない施設ですので、どうしても選ばなければなりません。この用地検討部会は、ある意味腹を割った議論ができたのではないかと思います。今後は1箇所に絞っていくことになるわけですが、先ほどから意見が出ていますように、住民の皆さんとの信頼関係が一番大事だと思います。そのためには、情報をしっかりと提供し、隠さないということと、約束は守るということが必要だと思います。言ったことを守らないと、何を言っても信用してもらえません。約束を守るということを繰り返していくことで、市民の理解を得ていくことが必要かと思っています。私は生活環境整備審議会にも属しているため、お手伝いできるチャンスがまだ残っていると思いますので、皆様がおっしゃっているような複合施設も検討していきたいと考えています。どうもありがとうございました。

遠藤課長

本日は生活環境整備審議会の横田会長にも出席していただいていますので、横田会長からご挨拶をお願いしたいと思います。

横田会長

生活環境整備審議会の会長を務めさせていただいております横田と申します。皆様には平成25年11月から本日まで、15回開催していただいた用地検討部会において、活発なご議論をしていただきました。困難な候補地選定にも関わらず、市民目線の観点から様々な点を考察していただき、本日このような報告書としてとりまとめていただいたことにお礼を申し上げたいと思います。

今後は、来週13日に開催される生活環境整備審議会において荒井部会長からこの報告書に関する説明を行っていただき、内容を慎重に審議したうえで、最終的に生活環境整備審議会で現在審議を行っている鎌倉市ごみ焼却施設基本計画（案）とともに、鎌倉市に答申を行います。

最後に、皆様には本部会を立ち上げてから1年という長い期間に渡って、貴重な時間を割いて用地検討部会にご尽力いただきましたことに改めて感謝申し上げます、私からの挨拶とさせていただきます。

遠藤課長

続きまして、環境部長の石井から挨拶をさせていただきたいと思います。

石井部長

1年間、用地の検討という難しいテーマをご議論いただきまして、ありがとうございます。1年間で15回開催したということは、一月に一回以上お集まりいただいたということであり、土曜日や日曜日に開催させていただいたこともありました。皆様には非常にご負担をおかけしたと考えております。今日こういった形で結果報告をまとめていただきましたことに、お礼を申し上

げたいと思います。

今後について、この4候補地から1候補地に絞り込むことについては、市の責任において対応させていただきたいと思っています。この報告書の内容及び生活環境整備審議会からの答申の内容を十分に踏まえて検討していきたいと考えております。鎌倉市の土地事情は非常に厳しいものがあり、4候補地それぞれに課題がありますので、1つに絞り込む作業も非常に厳しいものになると考えていますが、いただいたご意見にもありましたように、ごみ焼却施設は、どうしても必要な施設であるということを行政から市民の方々にしっかりと説明していきたいと思っています。また、先ほども市を挙げてというご意見がありましたように、魅力ある施設造りを、環境部だけではなく、市の中にはごみ処理に関する本部会議というものを作っていますので、市長以下しっかりと議論をして、全市的な対応をしていきたいと考えています。ごみ焼却施設の建設は、候補地を1つに絞り込むことによって初めてスタートすると思っています。市民の方々との信頼関係構築にも、市として十分取り組んでいきたいと考えています。今後も皆様のご指導、ご理解、ご協力を賜りたいと考えていますので、よろしく願いいたします。

遠藤課長

1年間、本当にありがとうございました。それではこれでごみ焼却施設用地検討部会を閉会させていただきたいと思っています。誠にありがとうございました。